

2009年度

科目名	教科教育法特論		
担当教員	伊藤 裕規		
配当	教福3	コード	43430
開期	後期	講時	木曜日3限
		単位数	2
授業テーマ	「子ども理解」と「教科教育」		
目的と概要	基礎的な教材に自らチャレンジし、固定的な考え方でなく子どもの自由な発想に気づき、子どもの考え方を理解し、指導者としての考え方、留意点、配慮事項について考察、教科嫌いをなくす教科教育法を考えることを目的とする。		
成績評価法	平常点・授業中の発言・レポート・発言・子ども理解への取り組み等を総合的に評価する。 講義時のミニレポート(35%)、平常点(35%)、試験(30%)		
テキスト	配布プリント		
参考書	子に応じた指導に関する指導資料(小学校算数編)ー発展的な学習や補充的な学習の推進ー 文部科学省(増刷予定がないので、一部をプリントして配布)		
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
第1回	オリエンテーション	「教科教育法特論」で何を、どのように学ぶか	
第2回	子ども理解と教科教育(1)	子どもたちの考え方・持っている力の考察 基礎的・基本的な内容、これからの教育を考える	
第3回	子ども理解と教科教育(2)	基礎的な問題と子どもの考え、現代生活への応用を考え、教科に対しての二次障害の予防と教科教育を考察する	
第4回	歴史に学ぶ	原点に戻り、歴史に学ぶー農耕や税、通商、建築などー	
第5回	授業の企画と展開(1)		
第6回	授業の企画と展開(2)		
第7回	授業の企画と展開(3)		
第8回	問題解決学習		
第9回	補充的な学習		
第10回	発展的な学習		
第11回	教科教育法考察(1)	小学校低学年教材にチャレンジ	
第12回	教科教育法考察(2)	小学校中学年教材にチャレンジ	
第13回	教科教育法考察(3)	小学校高学年教材にチャレンジ	
第14回	評価法	何のために、何を、どのように評価するのか	
第15回	まとめ	これからの教科教育法	